

資料館 だより

目次▶

1…企画展

2…事業報告

3…事業予定・新収蔵資料

4…報告・開館カレンダー

企画展

明珍鉄工所展 みょうちんてっこうじょてん

開催期間：7月22日（土曜日）～8月27日（日曜日）



▲金敷

昨年6月、125年の歴史に幕を降ろした「明珍鉄工所」よりご寄贈いただいた資料を中心にその長い歩みをご紹介します。

明珍家は代々仙台藩家老・片倉かっちゅうし家に仕える甲冑師の家でした。

明治維新を機に北海道登別へ移住。その後、札幌へ移り、明治30(1897)年、札幌本道沿い(現・市道恵庭線沿い泉町)で鉄工所を開業しました。

この年は、漁外いざりほか一力1村戸長役場か そん こちようやくばが設置された年でした。恵庭

(当時の漁村と島松村)にはじめて独立した役場ができた年です。すので正に恵庭の歴史とともに歩んだ鉄工所と言っても過言ではありません。

明治19(1886)年、山口県からの団体入植者がやってきたことを皮切りに本格的な開拓がはじめた恵庭では、農具や造材用具の製作、修理の技術は不可欠なものでした。

使う人の身長や力、土地の土質などに合わせ、いわばオーダーメイドの鍬や西洋式プラウの製造に励み、恵庭の農業を支えてきました。また、林業の盛んな恵庭では木材運搬のための馬そり、造材用具のほか、馬車の車輪の製造など産業と生活に欠かせない道具の製作に

あたりました。その後、馬の蹄ひづめに蹄鉄ていてつをつける装蹄業務やアセチレンガス溶接にも取り組み、時代とともに仕事の幅も広がっていきました。

しかし、昭和30年代を境に、農業は機械化され、従来の馬が曳く農機具は使用されなくなっていました。これを機に、「このままでは農機具製造技術が失われてしまう。何とか実物を後世に遺したい。」と考え、農機具の1/3ミニチュア版を考案し、技術の保存に努める取り組みにも力を注ぎました。



◀ ミニチュアプラウ

4月 ●29日～5月28日…昭和のおもちゃ展 ●29日～5月7日…五月人形の展示

5月 ●3日～7日…むかしの道具体験 ●13日…カリンバ土曜講座（第1回）

●27日…史跡カリンバ遺跡環境整備

6月 ●17日…アイヌ文化学習見学会 ●18日…考古学カフェ

五月人形の展示

4月29日～5月7日

5月5日の端午の節句にちなんで市民のみなさまよりご寄贈いただきました五月人形と甲冑をエントランスホールに展示しました。

五月人形は、昭和10年代、20年代、50年代と時代は様々ですが、子どもの健やかな成長を思う強い願いが込められた貴重な資料です。ゴールデンウィークを利用して郷土資料館を訪れた多くのみなさまにご覧いただきました。



▲展示の様子

第1回 カリンバ土曜講座

5月13日

今年度も郷土資料館では11年目となるカリンバ土曜講座を行っています。

第1回目は5月13日(土)に当館の学芸員長町章弘が「西島松5遺跡の擦文墓について」と題した講座を研修室で行い、21名の方が参加しました。

講座では、西島松5遺跡の6～9世紀の土坑墓から170点を超える金属製品が出土しており、

その数は同時期の道内の遺跡でずば抜けて多いことを紹介し、その理由について考えられることをお話しました。



▲講座の様子

史跡カリンバ遺跡環境整備

5月27日

5月27日(土)の8時から9時に、17回目となる史跡のごみ拾いと8回目となる花植えを史跡カリンバ遺跡で行いました。当日は、黄金南町内会・黄金南げんき会を始めとする近隣住民の方々、カリンバの会及び恵庭市教育委員会職員など19名に参加いただきました。

集めたごみは、40Lのボランティア袋で5袋分でした。ごみ拾いを始めた当初は自転車やタイヤなども落ちており、ボランティア袋も40袋以上あったことから、その頃と比較するとかなりきれいになっています。



▲花壇の前で記念撮影

その後、史跡の花壇3か所で、マリーゴールドやサルビアなど240株の花植えを行いました。参加していただいた皆様、誠にありがとうございました。

アイヌ文化学習見学会

6月17日

6月17日(土)にアイヌ文化学習見学会で旭川市へ行きました。35名の参加者は、神居古潭、旭川市博物館、アイヌ文化の森伝承のコタンの3か所を見学しました。神居古潭では、アイヌ伝承や地質、旧神居古潭駅について当館の学芸員がお話しました。神居古潭の雄大な自然と、歴史を感じてもらえたのではないかと思います。旭川市博物館とアイヌ文化の森伝承のコタンでは、旭川市の学芸員に解説してもらいました。博物館では、アイヌ文化や屯田兵の家についてなど解説していただきました。アイヌ文化の森伝承のコタンでは、復元されたチセを見学しました。当時のアイヌの方たちの生活について少しでも感じていただけたのではないかと思います。



▲見学会の様子

7月 ●2日…アイヌ文化マスター育成事業（第1回） ●8日…カリンバ土曜講座（第2回）
●22日…第10回カリンバまつり ●22日～8月27日…企画展「明珍鉄工所展」

8月 ●1日～24日…戦争資料展 ●5日～6日…アイヌ文化マスター育成事業（第2回）
●5日…漁川の生きもの観察会

9月 ●2日…カリンバ土曜講座（第3回） ●3日…アイヌ文化マスター育成事業（第3回）
●16日～18日…企画展「特別公開2023 カリンバ遺跡重要文化財漆塗り装身具」

第10回カリンバまつり

7月22日(土)に第10回カリンバまつりを郷土資料館で行います。今年はお記のとおり「土器作り」と「まが玉作り」を行います。いずれも事前申し込みが必要で、汚れても良い服装とタオルの持参をお願いします。皆様のご参加をお待ちしております。

●土器を作ろう!

時間・10時00分～12時00分
対象・小学3年生以上
定員・20名
参加費・材料代 300円

●まが玉を作ろう!

時間・13時00分～15時00分
対象・小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
定員・30名
参加費・材料代 200円

第3回カリンバ土曜講座

9月2日(土)にカリンバ土曜講座(第3回)が開催されます。講師は、当館学芸員の杉浦です。杉浦学芸員が郷土資料館の学芸員となって2回目となる今回の講座は「木製品と保存科学」となっております。土の中から出てきた弱った木製品をいかにして保存するのか、普段聞くことのない展示に至るまでの裏側について、恵庭市の木製品を見ながら紹介していこうと思います。

まだ席数に空きがありますので、少しでも興味を持った方はぜひお申込みください。



▲保存処理された木製品(柏木川4遺跡)

漁川の生きもの観察会

恵庭の母なる川 漁川にはどのような生きものが生息しているのか。さけます・内水面水産試験場より講師をお招きして観察会を8月5日(土)に開催します。実際に漁川の中に入って、たも網で魚を捕ったり、川の中にいる水生昆虫を捕って観察します。

関心をお持ちの皆さん、ぜひご参加ください。

時間・10:00～12:00
会場・漁川あかね橋上流右岸
集合場所・むつみ公園駐車場(白樺町1丁目9)
対象・小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
定員・10名
事前申込・必要です。
※申込開始日 7月22日(土)

新収蔵資料



島松川上小学校門柱の校章部分 6月6日受入 軟石製

「小」というマークがはっきり見えます。これは、大正2(1913)年、島松沢地区に開校した島松川上特別教授場にはじまる島松川上小学校門柱の校章が刻まれた部分です。南島松の「はなふる」敷地内、「市民花壇」の縁石として使用されていましたが、花壇

の造成時、作業されていた方々から「これは小学校の校章のようだ。であれば郷土資料館のようところで保存してもらった方がよいのではないか。」とお声をかけていただき花壇を管理する事業者など多くの方々のご尽力により郷土資料館で収蔵・展示さ

せていただくこととなりました。同校児童が使用した机・椅子と共に常設展に展示しています。建築年は不明ですが、昭和31(1956)年の移転時に建てられたものではないかと推測されます。



2007年5月撮影▶

考古学カフェ



考古学カフェとは、縄文のまち連絡会という遺跡や遺物といった文化財の活用を目的とした団体が主催するイベントです。今年、6月18日(日)に札幌市にある北海道立道民活動センターかでの2・7にて行われました。道内各市町村の遺跡の紹介や遺物の展示、まが玉作りや縄

文時代の物を触ってみようなど様々な体験コーナーが用意されました。恵庭市からはカリンバ遺跡出土の櫛のレプリカをもっていきました。見に来てくださった方たちは、櫛の見事な赤色や模様が面白いなど恵庭市からこんなに素晴らしいものが出ているのかと驚いていました。

体験コーナーでは、木製の魚釣り体験やまが玉作りなど大人から子供までたくさんの人たちが

が楽しんでくれました。

今回考古学カフェで展示したカリンバ遺跡出土の櫛のレプリカは、郷土資料館で見ることができます。ぜひご覧ください。



▲体験コーナーの様子

郷土資料館 開館カレンダー

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

- 毎週月曜日が**休**館日です。
…▶ただし、月曜日が休日の場合、**開館日**です。その場合、振替となり火曜日、水曜日が**休**館日となります。
- 休日は**開館日**とし、翌日が**休**館日になります。
…▶ただし、土曜日、日曜日にあたる場合は、**開館日**です。
- 毎月最終金曜日は、資料整理のため**休**館日となります。
…▶ただし、最終金曜日が休日にあたる場合は、前日が**休**館日になります。
- 年末、年始の**休**館日は、12月28日～1月3日です。

休館日の詳細



編集後記

今年の3月、隣の北広島市に新球場が開業しました。建設中から特徴的な三角屋根が当館の2階展望台から見えていたのですが、敷地内の木の成長が著しく、来年には隠れて見えなくなりそうです。(よ)

資料館だより No.62 2023年7月1日発行

発行 恵庭市郷土資料館 住所 〒061-1375 恵庭市南島松157-2 TEL/FAX 0123-37-1288

開館時間 午前9時30分～午後5時 入館料 無料